

経営法務

令和4年度 中小企業診断士1次試験

本試験 第3問

以下の文章は、令和元年になされた会社法改正に関して説明したものである。空欄に入る数値として、最も適切なものを下記の解答群から選べ。

なお、議案要領通知請求権とは、株主が提出しようとする議案の要領を株主に通知すること（招集通知に記載又は記録すること）を請求できる権利のことである。

「会社法の一部を改正する法律」（令和元年法律第70号）においては、株主提案権の濫用的な行使を制限するための措置として、取締役会設置会社の株主が議案要領通知請求権（会社法第305条第1項）を行使する場合に、同一の株主総会に提案することができる議案の数の上限を[]に制限することとされた。

〔解答群〕

- ア 3 (×)
イ 5 (×)
ウ 7 (×)
エ 10 (○)

本試験 第8問

ア 意匠法には、国内優先権制度が規定されている。(×)

本試験 第8問

イ 実用新案法には、出願公開制度が規定されている。(×)

本試験 第8問

ウ 商標法には、出願審査請求制度が規定されている。(×)

本試験 第9問

イ 特許権が共有に係るときは、各共有者は、契約で別段の定をした場合を除き、他の共有者の同意を得ないでその特許発明の実施をすることができる。(○)

本試験 第11問

イ 不正競争防止法第2条第1項第3号に規定する、いわゆるデッドコピー規制による保護期間は、外国において最初に販売された日から起算して3年を経過するまでである。(×)

本試験 第11問

エ 不正競争防止法第2条第1項第11号乃至第16号で保護される限定提供データは、技術上の情報のみを指す。(×)

本試験 第12問

イ 実用新案登録出願の願書には、明細書、実用新案登録請求の範囲、図面及び要約書を添付しなければならない。(○)

2022年合格目標 TAC教材

1 次上級答練第3問（設問2）

甲 氏：「わかりました。ところで、当社には、毎回、株主総会でたくさんの議案を提出する株主がいます。そのせいで、いつも、株主総会が長引いてしまいます。何か、いい方法はありませんか。」

あなた：「会社法は、株主が提案することができる議案の数を[]までとする上限を定めています。会社法に詳しい弁護士を紹介しますので相談してみてください。」

会話の中の空欄に入る数値として、最も適切なものはどれか。

- ア 5 (×) イ 10 (○) ウ 15 (×) エ 20 (×)

1 次養成答練 第24問

ウ 意匠法には、国内優先権制度が規定されている。(×)

1 次養成答練 第24問

ア 実用新案法には、出願公開制度が規定されている。(×)

1 次完成答練① 第18問

商標法に関する記述として、最も適切なものはどれか。

イ 出願審査請求制度が規定されている。(×)

1 次完成答練① 第10問

イ 特許権が共有に係るときは、各共有者は、契約で別段の定めをした場合に限り、他の共有者の同意を得ないで、特許発明の実施をすることができる。(×)

1 次完成答練② 第17問

イ 日本国外で3年を超える期間の販売実績があっても、日本国内において最初に販売された日から起算して3年を経過していない商品の形態は、不正競争防止法第2条第1項第3号に規定する商品形態模倣行為の保護対象となる。(○)

1 次上級答練 第15問

エ 不正競争防止法第2条第1項第11号で保護される限定提供データは営業上の情報を指し、技術上の情報を含まない。(×)

1 次完成答練① 第11問

ウ 実用新案登録を受けようとする者は、願書の特許庁長官に提出する際、明細書、実用新案登録請求の範囲、必要な図面および要約書を添付しなければならない。(×)